

前回会議（第8回検討会議）の意見整理（案）

No	項目	意見概要
1	適正な学校規模・学校配置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3拠点（案）[中学校区をまたぐ再編]への要望 <ul style="list-style-type: none"> ・出生数の推移から判断し、持続可能な学習環境の確立 ・中学校教育は義務教育の仕上げ 発達段階に応じた生徒集団・教職員集団の規模拡大は重要（学校運営・安定した教員配置・維持・部活動等選択肢確保・生徒の発達段階に必要な教育活動推進 等） ・多様性にある深い学びを追求するためには、一定の集団規模確保が必要 ・学習環境規模の適正化推進を段階的に考えることも重要な視点（次の段階での適正化までを詰めて議論） ・学びの質確保の視点から判断 ・温かい西脇市を継続しつつ、思い切った判断が必要 ○ 2拠点（案） <ul style="list-style-type: none"> ・中学校は、2拠点案も視野に入れた検討が必要
2	まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校とまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・学校の有無が、まちづくりに影響を与えることの吟味が必要 ・学校が無くてもまちづくりは可能（人口減少という状況下でもまちづくりは可能） ・学校とまちづくりを完全にリンクさせる必要は無い。 ・まちづくりの責務を学校に負わせず、新しいしくみを考えることが重要 ・立地適正化計画に示されたまちづくりの方向づけを確認することが必要
3	教育ビジョン 教育内容提示	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育内容・ビジョン等の協議 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会より展開したい教育内容等の提示を受け、そのためにふさわしい教育システム・環境について議論すべき ・めざす教育ビジョン・内容を把握し、大まかな方向性を答申に盛り込むことは大切
4	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てや義務教育にやさしい街 西脇市を継承すべき
5	教職員配置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校 35 人学級拡大に伴う教員配置（法改正により、2025 年度を目途に小 6 まで拡大） ○ 学校再編に伴う教員数の増員配置への要望（市単教員等）
6	総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育において、多様性・冗長性を高める ○ 多様性・冗長性を高めることは、教職員の指導体制づくりと指導力を高めることとセット ○ 地域の維持・活性化についての論議に、学校拠点の論議が適切かどうかを考えることが必要 ○ 適正化を、子育てを含めた全体で考えるという視点も検討 ○ 具体的な適正化プランが示されたことにより、議論の密度が上がっている